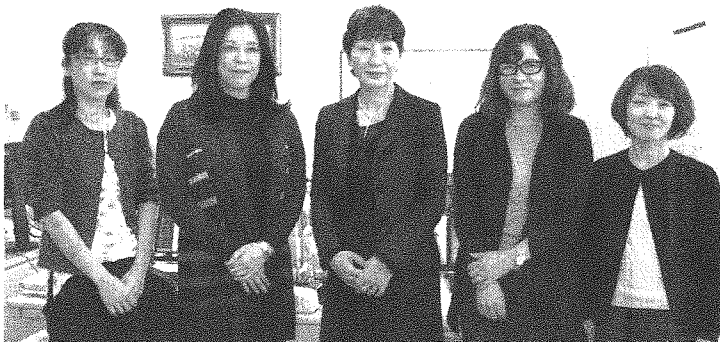


躍進する
女性陣

第453回

OCHIS
作本副理事長、葉山さん、
上妻さん、黒田さん、平田さん

(左から) 葉山さん、上妻さん、作本副理事長、
黒田さん、平田さん



睡眠時無呼吸症候群(SA
S)対策と健康管理を支援す
るヘルスケアネットワーク
(OCHIS)大阪オフィスの
で働く4人と作本貞子副理事

長。葉山瑞枝さんは、「一人
ひとりが責任感を持ち、仕事
をしていることがOCHIS
の魅力」と話す。OCHIS
のプログラムでは、「個人的な出

来事を通して、運輸
事業者へ何をお伝え
できるかを常に考え
ている」という。

「事業者の方から
ちょっとした質問が
寄せられる、事業者
目線がOCHISの
強み」という上妻敦
子さんは、「SAS
検査の結果を放置せ
ず、事故につながる
前に対策してもらう
よう伝えること」を

特に気をつけている。事業者
からの問い合わせが、昨年発
刊した「SAS対策Q&A
50」につながっているようだ。

「育児に全員理解があるの
で、子どもの急な発熱などで
休む際には、互いに仕事を補
い合える」と話すのは平田範
江さん。「ゼロからつくりあ
げていき、やり遂げた後の達
成感が魅力」と語る。

作本副理事長は、「大切な
従業員を病気で失わないため
には、何よりも『検診のやりっ
ぱなし』を防ぐことが大切。
またSAS検査は、健康面だ
けでなく安全面からも必要。
健康管理と対策に今後も真摯
に向き合っていく」と話す。

保健師の資格を持つ黒田悦
子さんは、個人面談や健康教
室などを行っている。「これ
からは、どのように診断後の
フォローをしていくかが重要
になる」と考えており、今後
は「不規則な生活で食生活が
乱れがちなドライバーに、ど

18日には事業者同士の意見
交換や実践的な情報収集が行
われる「両輪会」を初めて東
京で開催する。「SAS検査
の重要性を広く事業者の方に
知っていただけるよう、今後
も活動していきたい」と同副
理事長は話す。(木村麻理奈)

事業者目線で健康管理を支援